



高槻ロータリークラブ
2023~2024
WEEKLY BULLETIN

四つのテスト

- I 真実かどうか
- II みんなに公平か
- III 好意と友情を深めるか
- IV みんなのためになるかどうか

事務所 〒569-1116 高槻市白梅町 4-1 高槻阪急 6 階
 TEL 072-683-1158 FAX 072-683-1174
 URL <http://www.takatsukirc.org/>
 E-mail takatsuki.rc@bird.ocn.ne.jp
 例会日 毎週水曜日 12:30~13:30
 例会場 高槻阪急 6 階 多目的ホール TEL 072-684-5379
 創立 1954 年 6 月 15 日
 会長 河合一人 幹事 松下浩章 クラブ運営委員長 内本繁 会報担当副委員長 小阪大輔

No.8 2023 年 8 月 30 日 発行

8 月は会員増強・新クラブ結成推進月間

第 3331 回 本日 (8/30) の例会

- ◎ ソング・・・手に手つないで
- ◎ 卓話 江澤 由君
「インターアクト研修旅行」
- ◎ 例会後の行事
中長期クラブ戦略委員会

第 3332 回 次週 (9/6) の例会

- ◎ 国歌・・・君が代
- ◎ ソング・・・奉仕の理想
- ◎ 誕生、結婚、入会記念月御祝
- ◎ 創業記念月御祝
- ◎ 卓話 山口 誠君
「帯状疱疹後神経痛」
- ◎ 例会後の行事
9 月度定例理事会

先週 (8/23) の例会から

◎ビジター 計 1 名
 大阪城南ロータリークラブ 岡部 倫正様

◎出席報告

会員数	出席者数	出席率
46 名	33 名	73.33 %
前々回例会補正後出席率		80.00 %
但し、Mup 2 名 欠席者		9 名
出席規定適用免除有資格者		1 名

◎会長の時間

今日の会長の時間は、70 周年・記念事業についてのご報告となります。
 これまで、石田実行委員長始め、川面副会長、式典部会、記念事業部会、記念誌発行部会の各部長の皆さん、そして理事会等に於いて、基本的な方向性について、色々と協議を重ねてきました。
 後程、実行委員長の石田さんからも報告がありますので、重複する所があるのかも知れませんが、私からは、概略についてご報告致します。

当クラブは、過去・直近 20 年の周年事業に於いて、青少年育成をテーマに、5 年継続の記念事業を展開して来ました。そのどれもが有益な奉仕活動であった事は、疑う余地はありません。
 但し、国際ロータリーは近年、急速に変革を遂げて来ています。そしてこの国際ロータリーの方向性が、地区のビジョンや中期目標にも色濃く反映されているのは、既に皆さんもご承知の通りです。

いくつか抜粋すると

- ① RI のテーマを理解し、地域特性にあった活動を通じて、それぞれが魅力あるクラブになる事
- ② ロータリーの原点である親睦と奉仕を根幹とし、地域社会で良い変化を生み出す事
- ③ そして、多くの会員が引きつけられる新しいプログラムや行事、学びの機会を創出する事
- ④ 更には、社会により良く奉仕する為に、新しい人達にオープンになり、社会の変化に迅速に適応して行く事等が、掲げられています

一方、高齢化が進む日本のロータリーに於いて、クラブの活性化は、喫緊の課題と言えますが、その際の留意点として、変化に対してオープンで、前向きになる必要性

世界に希望を生み出そう

ゴードン R. マッキナリー RI 会長

が強調されています。その為には、あらゆる機会でも過去踏襲を改め、若い発想を取入れ、新たな発想による企画を考える必要がある事や、時代に即した企画により、会員参加の促進に繋げる事を奨励しています。

こう言った背景や、我々を取巻く周辺環境の変化を踏まえ、70周年・記念事業では、当クラブの将来を見据え、「今後のあるべき姿を検証する」と言う位置付けで進める事に致しました。

具体的には、過去実施の周年記念事業は、当日行事と継続事業の二本柱で行って来ましたが、70周年では、先ず記念当日行事として、2024年4月13日（土曜日）に、市民参加型のイベントを予定しています。

その際のターゲットは、二世帯・三世帯で参加出来るジャンルや、普段余り発表機会の少ないジャンルにもスポットを当て、多様なジャンルで、より多くの方々の参加を促します。

この企画を通じ、世代やジャンルを超えて協働する事により、共に成果や喜びを分かち合い、世代間の信頼を深めると同時に、「お互いが支え合える環境作りの一助となる事」を目的としています。

これにより、クラブとしての公共イメージの向上に繋がれば幸いです。

尚、従来の継続記念事業については、今回実行した当該行事の結果が、① 地域への奉仕活動として有益である事、② 公共イメージの向上に寄与する事、③ 新たなモデルケースになり得る事が確認出来た後、更に工夫を凝らし5カ年継続事業として移行する予定です。

70周年記念事業のアイデア等については、会員の皆様、それぞれのご意見やご関心をお持ちである事は、重々承知しておりますので、継続事業へ移行した暁には、是非ともお力添えをお願い致します。

以上が、70周年・記念事業に関する概略説明です。

70周年への取組が、以降の周年に向け「新しいモデルケースになり得る事」を目標に取り組んでいきますので、会員の皆様に於かれましては、ご支援・ご協力の程、宜しくお願ひ申し上げます。

◎大阪城南ロータリークラブ

創立55周年記念事業ウクライナ支援講演PR

大阪城南ロータリークラブ 岡部 倫正様



・本日は、10/27(金)に開催されます大阪城南ロータリークラブ創立55周年記念事業ウクライナ支援講演「ウクライナの現状と未来」のPRに参りました。講演者は当クラブが世話クラブとしてサポート致しました2017-2019年度米山奨学生のテチアナ・セゾネンコさんです。ちなみにウクライナ出身の米山奨学生は過去12名しかおらず、彼女はその中でも連絡の取れる数少ないウクライナ出身の米山奨学生です。当初よりウクライナ国内でボランティア活動に身を投じられておられましたが、活動にはお金が必要だという事で、

現在はデンマークで就職し、その報酬をウクライナ国内のボランティア団体に寄付する事により支援活動をサポートされています。世話クラブであった当クラブと致しましても彼女のひたむきな活動の一助になればと昨年と一昨年支援をして参りました。メディア越しでは伝わってこない生の現場の声を沢山の方々に届ける機会が必要ではないかと考え、今回の講演会を企画致しました。この講演会の参加費は全額テチアナ・セゾネンコさんを通じてウクライナの支援団体に寄付し、彼女を通じてウクライナ国民への直接支援に役立ててもらいます。是非より多くのロータリアンの皆様のご登録をお願い致します。なおこの講演会にはIM第2組の吹田ロータリークラブにもご協賛いただき、2クラブ合同での開催とさせていただきます。本日は貴重な例会の時間にPRのお時間を頂戴し誠にありがとうございます。

【日時】2023年10月27日(金)16時～18時

【場所】シェラトン都ホテル大阪4階浪速の間

【講演者】ウクライナ出身元米山記念奨学生
テチアナ・セゾネンコさん

【参加費】ロータリアン 10,000円
ローターアクト・一般 5,000円
(参加費は全額ウクライナ支援団体に寄付)

【参加方法】リアル対面参加・オンライン参加
(参加費はどちらも同じ)

◎幹事報告

・本日はございません。

◎委員会報告

○クラブ研修委員会

拝郷 淳弘

・今月は「会員増強・新クラブ結成推進月間」です。ロータリーの友8月号の推奨記事として、横書きの記事からは、P.4「RI会長メッセージ」、P.7「特集 会員増強・新クラブ結成推進月間」、P.22「ロータリー米山記念奨学事業の基礎知識」、縦書きの記事からは、P.9「シリーズこの人を訪ねて」、P.14「ロータリー柳壇」をご紹介させていただきます。お時間のある時にぜひ読んでいただければと思います。

○国際奉仕委員会

長井 正樹

・8/9(水)の例会でもご報告致しましたが、ガバナー事務所より「2024年ロータリー国際大会 国際ロータリー第2660地区 大阪地区ナイト 参加予定人数」についてご連絡が届いております。準備の参考のために、参加人数を把握されたいそうです。回覧に出欠のご記入がまだの方はご記入宜しくお願い致します。

【日時】2024年5月25日(土)
開始時間は18時頃を予定。

【会場】GOODWOOD PARK HOTEL
(グッドウッド・パーク・ホテル) 内会場

【登録料】未定

【詳細】後日改めてご案内あり

【登録】後日改めてご案内あり

・今年度の国際大会はシンガポールでの開催となり、昨年度のメルボルン国際大会の時より飛行機やホテルの予約が困難な状況が予想されます。参加を希望の方でまだ飛行機やホテルを予約されていない方は、旅行者などに早めにご相談される事をお勧め致します。日本ツアーサービスの資料を後方テーブルに置いておりますので、ご自由にお持ち帰り下さい。宜しくお願い致します。

○社会奉仕委員会

飯田 哲久

・8/26(土)開催の「ローターアクト第1回地区献血」に御協力宜しくお願い致します。メイクアップの対象となります。短時間の参加でも大丈夫ですので、一人でも多くの皆様のご参加宜しくお願い致します。

【日時】2023年8月26日(土)※雨天決行

【集合】10:00~16:00

【場所】①難波高島屋横なんさん通り ②京橋駅前
③樟葉駅前④梅田HEP前
⑤エミル高槻市駅前

【活動内容】①400ml献血
②街頭での一般の方への献血の呼びかけ

◎70周年実行委員会

委員長 石田 佳弘

・70周年実行委員長の石田です。

70周年の色々なイベント、行事、式典などいろんなことが目白押しに迫ってきています。まず、最初に2024年4月13日(土)に高槻現代劇場中ホールで開催するイベントを決めていかなくては いけません。

河合会長のもと、時代に即した企画を考え、会員参加の促進も重要なテーマです。

会長の「今後あるべき姿を検証するため為のチェックポイント」をして位置づけされた事業、あるいは行事をして捉え市民参加型のイベントを開催したいと思っています。

そのことは松下記念事業委員長を中心に委員会で企画を考えて頂きたく、まさに今現在戦々恐々、奮闘している状況です。

松下委員長が中心と言いましたが、松下委員長だけですのではなく皆様の提案やご意見や希望などを取り込みまして、皆様が参画して頂くことで推し進めていきたいと思います。

皆様、楽しんで行事、事業を行いましょ。

また伊藤記念誌発行委員長も並行して資料集めなどこちらも色々ご苦労されております。

こちらの方は式典など全部終わってからの発行になりますが、式典などの中でも使う予定をしていますので早めに準備をする必要があります。

皆様で協力してこちらもすすめていきたいと思います。

また資料など皆様お持ちの資料をどんどん出し合っ てご協力よろしくお願ひ致します。

記念式典の部会の方は本日は触れずにおきますが、日程は決まっています。

日時は2024年6月16日の日曜日となります。

リーガロイヤルホテルで17時からの開演となります。

その時はお時間を空けておいて下さい。

宜しくお願い致します。

まずは記念事業・行事の方を早めに決めて進んでいきたいと思います。

国際ロータリーや地区の方向性、我々を取巻く周辺環境を踏まえ、過去踏襲ではなく、新たな発想により、時代に即した企画になる事が何よりも大切だと思っています、会長がおっしゃった通り「より充実した成果となる事」を願っています。

そのことを念頭に考えて進めて頂きたいと思ひます。私からは以上です。

◎卓話

「まとまらなさそうで、まとまるもの話」

井前 憲司

私たちの周りには、不思議であるが不思議でないものが多々ある。

私の場合の不思議は、たとえば神社で拍手(かしわで)するときなぜ右手が左手に食い込まないか、ではわからないので具体的にさらに説明すると、右手の電子が勢いでなぜ左手に飛び出さないのかです。手の皮膚は高分子で分子が連なったものです。この分子は原子核があり電子がありますが、大きさのイメージでいうと、原子核をパチンコ玉とするとその原子は東京ドームほどのものです。水素の場合でいえば、電子がその大きさの中に2個分粒子か波動か確率でいるわけですが、拍手を打った時右手の電子が左手に飛び出さないのかです。遠心力や惰性で飛び出してもいいのでは、という気がします。この電子は原子核の陽子が電磁力で引っ張っているのだから遠心力・惰性より強いので、右手の電子は左の分子の領域まで移動できず、その結果何も手も手も食い込まない、とコーヒー飲みながら考えると理解できる

(電磁力の強さはけた違いに強いので電子は絶対逃げ出せない)。また同じ原理で廊下を歩いているのも地球の中心まで落ちないのは、床の分子の結合力が強いため、私が地球の中心に向かって落ちようとする力より分子の結合力が強いため安心して歩けるのである。しかし拍手を打った場合左手の電子がなにかの拍子に右手の原子核の領域に迷い込むことが本当にないのか。電磁力で引っ張り込んでいる力が、まちがって隣の電子を瞬間的にでも巻き込むことはないのかです。電子は色もなく名札もついていないので入れ替わっても帰属(意識)がどうなのか不明です。しかし自己意識のない電子は、文字通り当然のごとく自分の原子核に拘束され留まっているのである。決してお隣りに行こうとはしない。一見まとまらなさそうな電子が、きちんと量子論の世界でもまとまっている一例です。

*意識のない細胞ではどうか。そのまとまりはどうだろうか。どの人の細胞も一旦決まった組織からは移動できず細胞分裂し、大きくなるだけで帰属はそのまま変わりません。人間では、神経細胞・筋肉細胞・脂肪細胞・血液細胞・粘膜細胞・消化器官細胞・免疫細胞などに細胞群がある。そこでの細胞は一旦帰属が決まると時間が逆回りしない限り、他の組織に変わることはない。表皮細胞が心変わりをして神経細胞になる、てことはない。ただ、ガン細胞だけは転移といって自由に移動するどころか、その先で増殖していきます。

この各々の細胞は単に元の村=細胞群に所属しているが、じっとしているかというのではなく様々な信号を発してお互い交信している。信号は、接触信号・電磁信号・化学信号などがあります。よくないものが侵入してきたとき、サイトカインも細胞間の通信手段のひとつで、免疫系を活性化させ生体維持の働きを行うよう救急サイレンや伝令のようなものをだして防御します。コロナ罹患の場合、サイトカインが暴走し過剰になって正常細胞を攻撃し、結果重篤な後遺症を引き起こした場合によっては死に至ることもあった。また日常では、膵臓から放出されるインスリンは有名です。食事をとることで血液中に糖分ができると直ちにインスリンが放出される。これらは化学反応によって自らの生体をまもるしくみである。細胞は、各器官に固定されて相互に関係がなさそうであるが、実は生命の維持という点で細胞間で信号を出し合っ て、生体として維持されている。余談ですが、糖尿病では尿が甘いからそう命名されたと思うのですが、その甘さだけを抽出できれば先般の守田会員の卓話でステビア生産世界一とお伺いしましたが、甘さ成分を

リサイクルできないかな、と低レベルの想像をしました。たぶんできないんだらうな、経済的に。
 *人間の場合、人が組織と交信し、その結果帰属を変えたりすることがあるのであろうか。われわれの大部分は全くの無職でない限り、また無人島で暮らしていない限り何らかの組織・社会に帰属している。かつての軍隊では、どんなジャングルや極寒の原野で戦闘中にはぐれたり、負傷して遅れた場合でも、原隊追及復帰は絶対命令でした。実務的には食料・武器・弾薬の補充は所属原隊でないとできないし、論功行賞などできなくなるためですが。では、今の世の中で個人と組織のまともまりほどのようなものか。一般論に入る前に、わたしたちのロータリーの場合を考えてみます。RCでは、親睦活動を相互コミュニケーションの手段として、奉仕と共に最重要なものとして位置付けています。一人一人の会員はRC外では組織としては規定で別組織ですが、ここでは同じメンバーとして、尊敬しあい研鑽しあう仲間となります。行事で全員集まった時などは最後に文字通り手と手をつないでの唄を歌い、つながって終わります。こうしたつながりは精神面では、支えあいや共感を通じてストレス解消にもなるし、満足感・幸福感を得ることができますし、幸せホルモンのエンドルフィンを分泌する作用も伴っているはずで、殺伐としたシカゴでハリス(青年)会長が始めたロータリーが、瞬く間に世界に広がったのは、他の要素と相まってつながりを重視したことがあると思います。こうしてまとまらなさそう(卓話のながれでこう書きます)なロータリーですが、親睦という重要なキーワードできっちりまとまっているのです。また一般的な話で考えると、現在の人間社会では、個人でまとまっていない人はいないのではないのでしょうか。先ほど例に出した無人島で生活すると考えたら、まず生きていくために自分で漁をしなければならない。が、服が破れてきたら・・・買えない。服を作っている人、売っている人がいなければ入手できない。病気になったらそれまでです。こうしてみると、私たちの生活には実に様々な人たちとの結びつきがあって成り立っている。RCで各人の職業は「やく立つ仕事はすべて価値あるものと認め」ようと変な日本語に訳されて規定されていますが、無限のモザイク模様の中で成り立っている一つ一つの要素・会社が重要であるとの認識からでしょう。前回の河合会長の話にあるように、隔絶された環境、孤独の中では人間は生きられない。ジョン万次郎でさえ無人生活は140日です。その後外国船に救助され、日本に帰っています。有人宇宙船のクルーも隔絶されたカプセル生活でも絶えずセンターからの通信で地球とつながっている。電車のなかで携帯に見入っている人もどこかにつながっています。まとまらなさそうで、まとまっているのが現代社会のわれわれであるといえます。以上で卓話を終わります。ご清聴ありがとうございました。



◎ニコニコ箱報告

- ・ウクライナ支援講演のPRにお伺い致しました。本日は貴重な例会のお時間を頂戴致します。
大阪城南 RC 岡部 倫正様
- ・主人と二人で執筆した本が今月出版されました「建築設計のデジタル道具箱」全国書店で販売中です。
堀部君
- ・卓話をお聞きいただき有難うございます。
井前君
- ・クラブジャケットありがとうございました。大切に使用します。
岩村君
- ・大阪城南ロータリークラブ岡部様、本日は当クラブへのご来訪ありがとうございました!!
河合君
- ・岡部さん、高槻RC例会へご参加有難うござ座居ます。
松下君
- ・岡部さん本日は高槻へようこそお越し下さいました。
中西君

本日の合計	¥	33,000-
7/1 よりの累計	¥	428,000-

◎R 財団への寄付 (年次)

河合 一人君 ¥ 5,000- 松下 浩章君 ¥ 5,000-

本日の合計	¥	10,000-
7/1 よりの累計	¥	150,000-
一人当たり平均		\$ 22.49

◎R 財団への寄付 (ポリオ)

岩村 真二君 ¥ 5,000-

本日の合計	¥	5,000-
7/1 よりの累計	¥	25,000-
一人当たり平均		\$ 3.75

◎米山奨学会への寄付

本日の合計	¥	0-
7/1 よりの累計	¥	150,000-
〔 会員より	¥	35,000-
〔 クラブより	¥	115,000-
一人当たり平均	¥	3,260-

◎青少年育成基金への寄付

井前 憲司君 ¥ 5,000-

本日の合計	¥	5,000-
7/1 よりの累計	¥	20,000-



◎8/23 卓上花

紅葵……………常に新しい美
 スターチス……………変わらぬ心